

木材保護塗料(WP)
JASS18 M-307
適合品

人と環境に優しく、使いやすく、優れた耐候性

外部用

WP

水性バトンプラス

自然系木材保護塗料



私たちは「日本の木の文化」を大切に考えています

創業1936年 高級木工塗料専門技術メーカー



大谷塗料株式会社

写真撮影 環境省選定名水百選 轟水源(熊本県宇土市)
Made in くまもと ©2010熊本県くまモン#K 29491

自然にやさしい塗料



日本の風土に合わせ
日本の技術で造った
日本製の塗料

外部用

WP

水性バトンプラス

水性 自然系 木材保護塗料(WP)

水性バトンプラスは、人と環境に優しく、耐候性のよい水性自然系木材保護塗料です。主原料は亜麻仁油等の植物油、顔料はベンガラ等の無機顔料、薬剤は植物由来のヒバ油等を使用した高い安全性と溶剤系塗料に劣らない耐候性を有した塗料です。



亜麻仁油



ベンガラ



ヒバ油



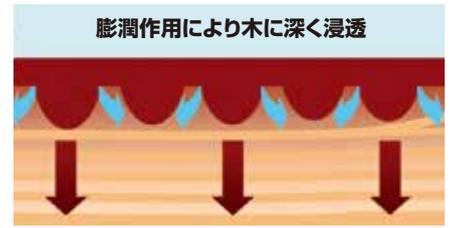
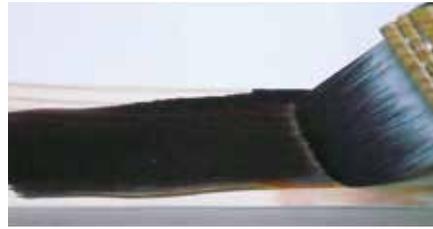
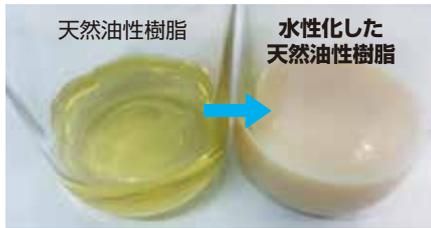
水

国産材に適した塗料

水性バトンプラスは、日本の塗料メーカーである大谷塗料が、日本の気候風土に合わせて杉や檜等の国産材の耐候性が向上するように開発した塗料です。

木材に深く浸透するメカニズム

水性バトンプラスは、
水性化した天然油性樹脂が水分の膨潤作用によって広がった木の繊維深くまで浸透します。



木目を活かした美しい仕上がりと高い耐候性を実現

退色・変色に強い優れた耐候性

水性バトンプラスは、
今までの水性着色剤にはない**耐候性**を有し、木材へ深く**浸透するタイプ**のため、
造膜タイプのようなフクレ、ハガレは起こしません。
また浸透タイプのため、メンテナンス性に優れ、塗り替えも簡単です。

促進耐候性試験



水性バトンプラス
プランク



水性バトンプラス
促進試験板

※JIS K 5600 7-7に準拠した
湿潤サイクル試験 480時間照射にて比較

耐候性実績



福岡県 JR東水巻駅

美しい仕上がり

水性バトンプラスは、
亜麻仁油の浸透効果と塗り伸び性により、油性やその他の塗料と変わらない**塗りやすさ**を実現しました。
大きな面積や複雑な形状でも**塗り継ぎムラなく**美しく仕上がります。

塗り継ぎ試験



一般的な水性塗料



水性バトンプラス

木材への防虫・防蟻・防腐・防カビ

JASS 18 M-307適合 〈**社団法人 日本建築学会**〉

木材保護塗料塗り(WP)規格に適合しています

防蟻テスト



ブランク

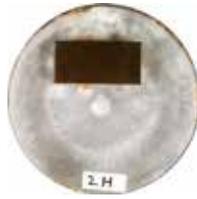


水性ハトンプラス

防腐テスト

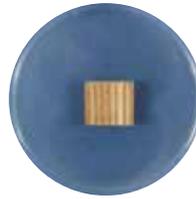


ブランク

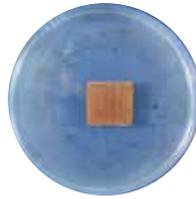


水性ハトンプラス

カビ抵抗性試験



ブランク



水性ハトンプラス

高い安全性

「室内空気汚染に係るガイドライン
室内濃度指針値対象化学物質」適合

〈**厚生労働省**〉

該当する13物質は含みません

「学校環境衛生基準」適合

〈**文部科学省**〉

該当する6物質、及び鉛は含みません

「食品衛生法等規格基準」適合

〈**厚生労働省**〉

乾燥した塗膜は食品衛生法、食品添加物等の規格に適合します
食器レベルの安全性を有しています



水性ハトンプラス技術資料

試験方法 JASS 18 M-307=木材保護塗料 日本建築学会 建築工事標準仕様書)に準じる
試験品 製品名 水性ハトンプラス
色名 淨 8018+ ウォルナット

項目	規格	結果
容器の中での状態	かき混ぜた時、異い層が無く一様なものであること	異常なし
塗 装 作 業 性	塗装作業に支障があること 1 目塗り 2 目塗り	異常なし 異常なし
乾 燥 時 間	18時間以内	18時間
塗 膜 の 外 観	塗膜の外観が正常であること	異常なし
耐 湿 耐 候 性	480時間の照射でふくれ、割れ、はがれがなく、色の変化の程度が見本品と比べて大きいものとする	目標の評価にて、見本品と比べて変化の程度は少ない
か び 抵 抗 性	試験体の表面に塗膜に菌糸の生育が認められないこと	異常なし

試験方法の概要
試験品の仕様 JIS K 8000-1-1 4.1.2 a) 塗料塗布の場合による
容器 18 L 4 L 及び 0.1 L
それそれ適量へら、綿などを用い、全体をかき混ぜ、塗液物がある場合これらをすべて均一にすることが出来る。

試験方法 JIS K 8000-1-1 4.2 塗装作業性による
試験機 200×100×10 mm で、表面は #180 サンドペーパーで研削し使用する。
また水率を 20%以下 測定含水率計で測定し記録する。
塗布量 塗布が 80 g/m² とするよに塗布する。
塗液物
1 目塗り 塗料をガリカップに入れ、刷毛を半分ほど浸し、へらで塗る。塗布方向は刷毛を動かす方向に塗布する。1回塗り後、自然乾燥させる。
2 目塗り 1 目塗り後、自然乾燥させた後、再度塗布する。
乾燥時間 1 目塗り 2 目塗りともそれぞれ塗後 18 時間(20 時間)で評価する。
試験方法 JIS K 8000-1-1 4.3.4 自然乾燥の場合による
試験機 塗装作業性で用いた 1 目塗りの試験機で評価する。
操作 塗液物 JIS K 8000-1-1 4.3.4.4) 自然乾燥の場合による
試験機の蓋を閉じ、蓋を水平に、ほこりが付かない様に自然乾燥状態で規定の時間乾燥し、乾燥の程度を評価する。
判定 JIS K 8000-1-1 4.3.4.4) 半硬化状態による

半硬化状態 塗膜の中央を先で線かきこすことで塗膜にすじ割れがつかない状態。
18 時間以内であれば合格とする。

試験方法 JIS K 8000-1-1 4.4 塗膜の外観による評価、次とする。
試験機 塗装作業性で用いた方法で、別々の板に塗料と見本品をそれぞれ塗布し、24 時間水平に置いたものを試験板とする。
判定 見本品と比べて色、つやの差異が少なくはじ、塗膜、割れ、ムラ、塗膜剥離などの異常がない時、試験の外観が正常であると判定する。

試験方法 JIS K 8000-1-1 4.4.4 塗膜の外観による評価、次とする。
試験機 塗装作業性で用いた方法で、別々の板に塗料と見本品をそれぞれ塗布し、24 時間水平に置いたものを試験板とする。
判定 見本品と比べて色、つやの差異が少なくはじ、塗膜、割れ、ムラ、塗膜剥離などの異常がない時、試験の外観が正常であると判定する。

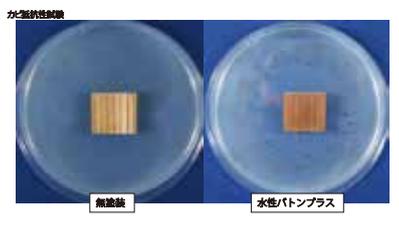
品 名	1 目目塗り塗布量	2 目目塗り塗布量
水性ハトンプラス ウォルナット	80 g/m ²	80 g/m ²
見本品	80 g/m ²	80 g/m ²

試験方法 JIS K 8000-1-1 4.4.4 塗膜の外観による評価、次とする。
試験機 塗装作業性で用いた方法で、別々の板に塗料と見本品をそれぞれ塗布し、24 時間水平に置いたものを試験板とする。
判定 見本品と比べて色、つやの差異が少なくはじ、塗膜、割れ、ムラ、塗膜剥離などの異常がない時、試験の外観が正常であると判定する。

試験方法 JIS K 8000-1-1 4.4.4 塗膜の外観による評価、次とする。
試験機 塗装作業性で用いた方法で、別々の板に塗料と見本品をそれぞれ塗布し、24 時間水平に置いたものを試験板とする。
判定 見本品と比べて色、つやの差異が少なくはじ、塗膜、割れ、ムラ、塗膜剥離などの異常がない時、試験の外観が正常であると判定する。

試験方法 JIS K 8000-1-1 4.4.4 塗膜の外観による評価、次とする。
試験機 塗装作業性で用いた方法で、別々の板に塗料と見本品をそれぞれ塗布し、24 時間水平に置いたものを試験板とする。
判定 見本品と比べて色、つやの差異が少なくはじ、塗膜、割れ、ムラ、塗膜剥離などの異常がない時、試験の外観が正常であると判定する。

第 8 節の a) ケミカル クロロム 60R08847
試験機 200×100×10 mm 木材保護塗料(塗料)に規定の二層の塗布厚 80×20×8 mm)を用い、20℃湿度 60%、水口を 20℃に保ち、試験 対象塗料)を木口面に 4 層を塗り、自然乾燥させたものとする。
判定 JIS Z 2911 の 4.2.1 試験機(試験機)によって試験を実施し、試験の結果が、JIS Z 2911 の 4.2.2 試験機(試験機)の表示の試験値の範囲に塗料の生育が認められない時は、かび抵抗性を有するものとする。



カラーバリエーション

人と環境に優しく、使いやすく、優れた耐候性

外部用

WP

水性バトンプラス

自然系木材保護塗料

常備色16色

荷姿：14kg、3.5kg、0.8kg



#5001+ 透明



#5023+ ホワイト



#5025+ ブラック



#5027+ グリーン



#5029+ ブルー



#5031+ イエロー



#5003+ ナチュラルブラウン



#5013+ ライトオーク



#5005+ グレー



#5015+ レッドオーク



#5007+ パイン



#5017+ オーク



#5009+ ダークブラウン



#5019+ ウォルナット



#5011+ ミディアムブラウン



#5021+ アイアンレッド

- 木材によって色相が異なる事があります。塗装前に必ず試し塗りをして下さい。
- この色見本は印刷のため実物とは多少異なります。

実績



千葉県 なるとうこども園



岐阜県 みんなの森ぎふ メディアコスモス



兵庫県 西宮こども家庭センター



陽だまりハウス

塗装工程

木材保護塗料塗り(WP)対応 国土交通省公共建築工事標準仕様書

工程	A種	B種	使用塗料	塗布方法	塗布量 (g/m ²)	乾燥時間
1	素地調整		研磨紙 P120~P220 (その他、公共建築標準仕様書に基づく)			
2	○	○	水性バトンプラス	刷毛塗り ローラー ディッピング	60~100	4時間以上
3	○	○	水性バトンプラス	刷毛塗り ローラー ディッピング	60	12時間以上
4	○		水性バトンプラス	刷毛塗り ローラー ディッピング	40~60	12時間以上

目安として、塗料1kgでA種では6.2m²、B種では8.3m²塗装できます。

- 材質により塗布量は異なります。また塗装後、湿度や温度に応じて乾燥時間を調整して下さい。
- 特記がない場合は、B種に沿って塗装して下さい。
- ヤニが多い木材については、ラッカーシンナーまたはアルコール等で表面のヤニを取り除いて下さい。または焼きごて等を使い処理して下さい。
- 旧塗膜がある場合、塗装できません。旧塗膜を完全に除去した後に塗装を行って下さい。

使用上の注意

- 水性バトンプラスは希釈しないで原液のまま使用するように設計されています。
- 色の濃度調整は#5001+透明を使用して下さい。但し、#5001+ 透明の割合が増えるとその分耐候性は低下しますので、ご注意下さい。
- 水での調整はできません。水性バトンプラスの性能が著しく損なわれますので使用しないで下さい。
- 使用する前に必ず棒などで底部より、よく攪拌して下さい。また使用中も攪拌して下さい。

塗装上の注意

- 水性バトンプラスを塗装直後、雨がつかからないように注意して下さい。十分に乾燥しないうちに雨などで濡れると、色が流れ落ちたり、薬剤などの有効成分が流れ出たり、斑点などが残る事があります。
- 木材の含水率は20%以下に調整して下さい。
- 雨天の日や気温が5℃以下の時は塗装を避けて下さい。
- 標準塗布量を超えて塗装されますと乾燥が遅れる場合があります。余分な塗料はウエス等で拭き取りを行って下さい。
- 下塗りが未乾燥のうちに塗り重ねると、乾燥遅延を起こすことがありますので、ご注意下さい。
- 水性バトンプラス#5001+透明の単独使用は避けて下さい。(顔料を配合しておりませんので、紫外線に対する耐候性は有りません。)
- ベンチ、ウッドデッキ、バルコニー等の色落ちにより衣服を汚すおそれのある部位への塗装は、乾燥後ウエスなどで乾拭きして下さい。塗膜は強く擦ると物理的に色が落ち、衣服に色が付着するおそれがあります。

取扱い上の注意

- 塗料が付着したウエスや塗料カスは廃棄するまで必ず水につけて下さい。自然発火のおそれがあります。
- 塗装した刷毛の洗浄には石鹼水、または食器用洗剤等を使用する事を推奨します。
- 塗料の廃液、洗い液は下水などに流さないで下さい。地方自治体の処分方法に従って処分して下さい。
- その他、容器に記載の注意事項及びSDSをよくお読みの上ご使用下さい。
- 塗料の保管は密閉して、子供の手の届かない冷暗所に保管して下さい。

創業1936年 高級木工塗料専門技術メーカー



大谷塗料株式会社

本社・工場 〒537-0021 大阪市東成区東中本3丁目1番18号
電話06(6976)0251(代)FAX.06(6971)4901

東 京 〒357-0023 埼玉県飯能市岩沢170番地
電話042(974)3191 FAX.042(974)2888

名 古 屋 〒463-0081 名古屋市守山区川宮町432
電話052(793)4713 FAX.052(793)9654

九 州 〒869-0462 熊本県宇土市城塚町82-1
電話0964(22)1903 FAX.0964(22)1799

熊本工場 〒869-0462 熊本市宇土市城塚町
電話0964(22)4745 FAX.0964(22)4746

ISO14001:ISO9001
認証工場



URL <http://www.otanipaint.com/>

代理店